株式会社 INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

(株)INAX「お客さま相談室」

0120-1794-00 受付時間9:00～17:30(土・日曜、祝日を除く)

修理のご依頼は(本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

お求めの販売店または

(株)INAXメンテナンス

0120-1794-11 受付時間9:00～20:00(日曜、祝日は9:00～17:30)

取扱店（店名・住所・TEL）

取付日

年　月　日

GAW-0016(99063)

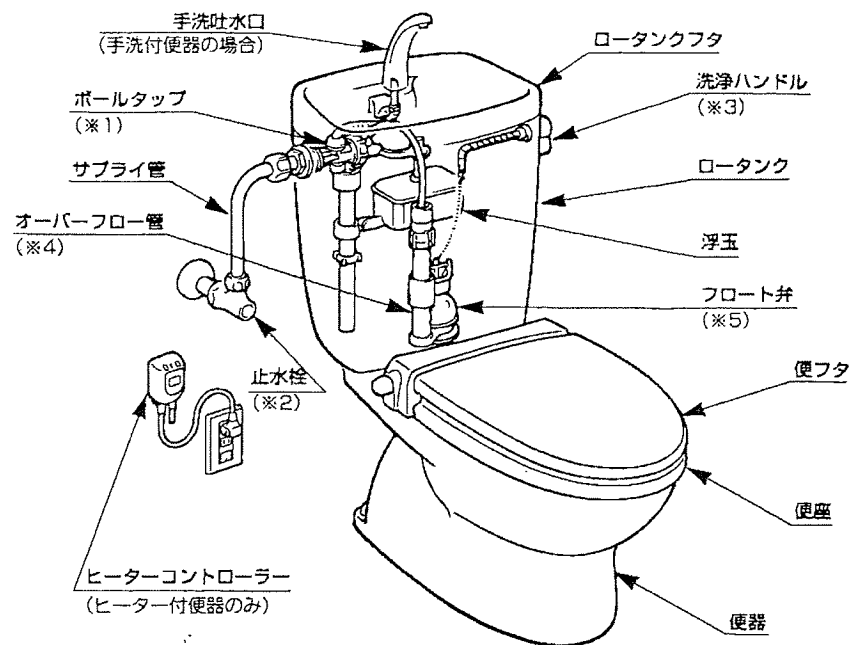
W節水 洋風タンク密結便器

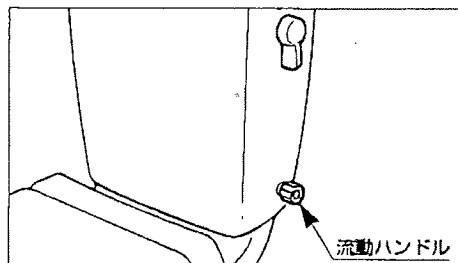
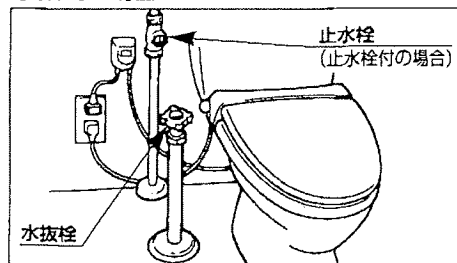
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

各部の名称と働き

(※1) ボールタップ	(※2) 止水栓	(※3) 洗浄ハンドル	(※4) オーバーフロー管	(※5) フロート弁
浮玉の動きにより、一回分の洗浄水をロータンク内に供給する弁です。	水道の水はここを通って、ロータンク内へ給水されます。止水栓はこの水を止めたり、水量調節を行うための弁です。	フロート弁を持ち上げてロータンク内の洗浄水を便器に流出させるためのハンドルです。	万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、ロータンクから水があふれないように、便器の方へ流す役目をします。	洗浄ハンドル操作により、ロータンク内の水を便器に排出させる弁です。

流動式の場合

水抜式の場合

※水抜栓は当社製品ではありません。

安全上のご注意 (お使いになる前に必ずお読みください。)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

・・・ 「注意しなさい！」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

・・・ 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

・・・ 「分解してはいけません！」

・・・ 「バスルームやシャワールーム等の水場で使用してはいけません！」

・・・ 「指示した場所に触れてはいけません！」

・・・ 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

・・・ 「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

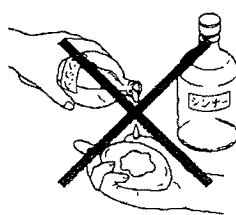
⚠警告

修理技術者以外の人は、ヒーターコントローラーなどの電気部品を絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 発火したり、異常動作してケガをすることがあります。
（ヒーター付便器の場合）

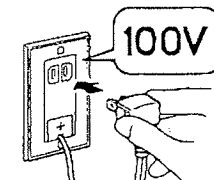
電源プラグやヒーターコントローラーを水につけたり、水をかけないでください。
※ ショート・感電の恐れがあります。
（ヒーター付便器の場合）

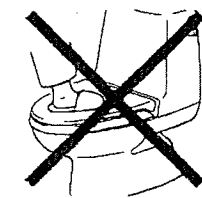
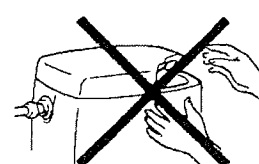
⚠注意

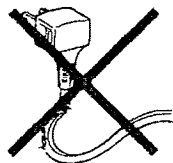
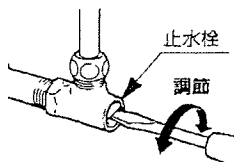
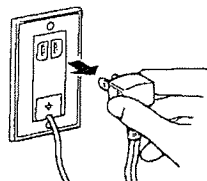
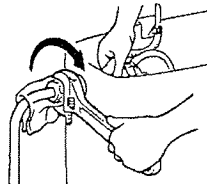
ヒーターやヒーターコントローラーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※ そのまま使用するとショートや感電の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源プラグやヒーターコントローラーにトイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

⚠注意

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

交流100V以外では使用しないでください。
※感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

便フタやカバーの上に乗らないでください。
※ 破損してケガをすることがあります。

ロータンクや便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

⚠ 注意

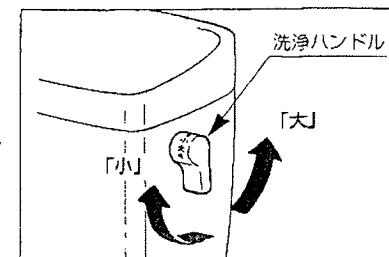
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※ 感電・ショート・発火の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず最初の位置に戻してください。
※ 最初の位置に戻さないと、漏水により家財などを濡らす恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※ 感電・ショート・発火の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

サプライ管の接続は確実に行ってください。
※袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。

ご使用方法

便座については、便座の取扱説明書を必ずご覧ください。

■便器鉢内の洗浄のしかた

用便後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合、洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。

〈小〉：小用の場合にお使いになると洗浄水が少なくてすみます。

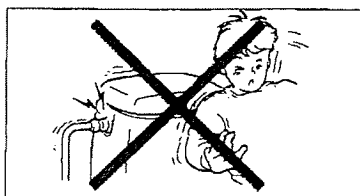
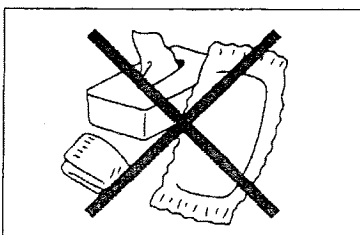
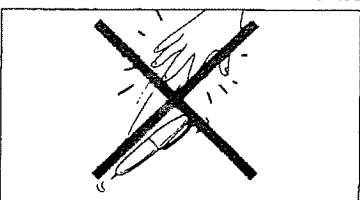
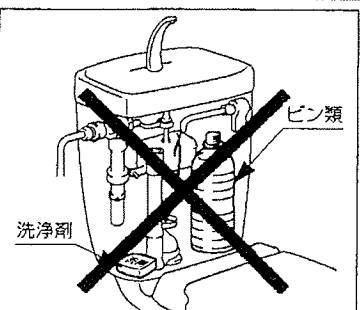
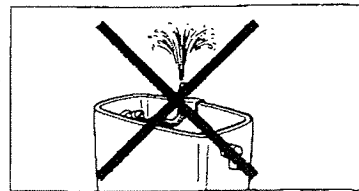
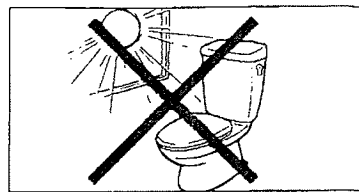
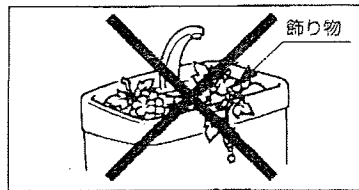
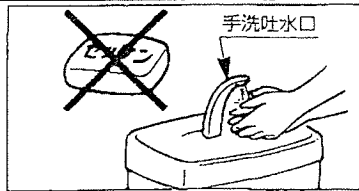
〈大〉：大用の場合にお使いください。

注意

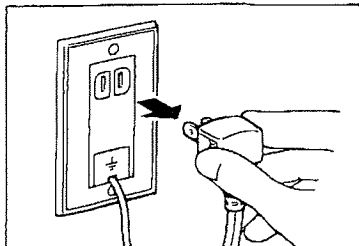
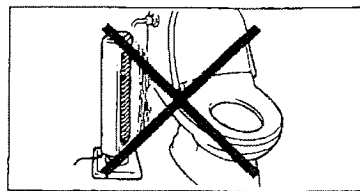
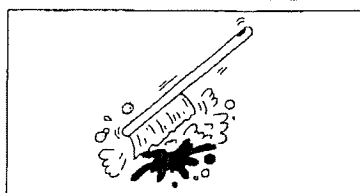
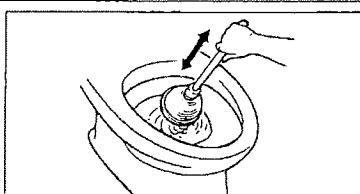
- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、〈小〉で使用されますと紙が流れない場合がありますので〈大〉の方でご使用ください。
- 一回目の便器内洗浄から間をおかずに二回目を行うと洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから洗浄ハンドルを操作してください。

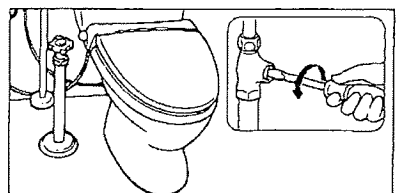
ご使用上の注意

■故障を起こさないために守ってください

注意

●ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。
※衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。

●便器には、新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品等は流さないでください。
※便器が詰まり汚水があふれる原因になります。
必ずトイレットペーパーをご使用ください。

●クシ、ボールペン、歯ブラシ等を誤って便器鉢内に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。
※便器が詰まり、汚水があふれる原因になります。

●節水のためにロータンク内にビンやレンガ、洗浄剤などの異物を入れないでください。
※内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。
※水量不足により、洗浄不良・便器詰まりを起こし汚水があふれる原因になります。

●手洗付の場合、ロータンクフタを外したままご使用にならないでください。
※手洗用の水が周囲に飛び散り、床や壁を汚します。

●直射日光が当たらないようにしてください。
※直射日光により樹脂部（便座・便フタ）が変色することがあります。

●手洗付の場合、手洗鉢に飾り物を置かないでください。
※タンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。

●手洗付の場合、手を洗うときは石けんなどを使わないでください。
※ロータンクの内部に石けんが入り、故障の原因になります。

●雷が発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※コンセントから電源プラグを抜かないと雷の影響により故障の原因になります。

（ヒーター付便器の場合）

●樹脂部にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※変色や故障の原因になります。

●便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちないときは、樹脂製のブラシで掃除してください。

●万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
※詰まったまま水を流すと、便器から汚水があふれます。

●フタおよび便座の開閉は静かに行い、衝撃を加えないでください。
※衝撃で破損する原因になります。

●水抜式で止水栓付便器の場合、止水栓は必ず全開でご使用ください。
※凍結の恐れがあります。

■結露の注意

室温と便器タンクの表面温度差や湿度により、便器・タンクの表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。
※結露水は床のしみや破損の原因になります。
※防露タンク、防露便器の場合は結露しにくい構造になっています。

■KILAMIC抗菌商品についての注意

1.KILAMIC抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
2.KILAMIC抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

シャワートイレお掃除クリーナー・おそうじティッシュの購入方法

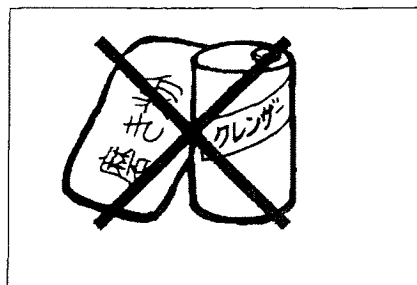
●直接、購入される場合
お求めの販売店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。また、全国有名スーパー、大手家電量販店でもお求めになれます。（一部、取扱っていない場合もあります。）

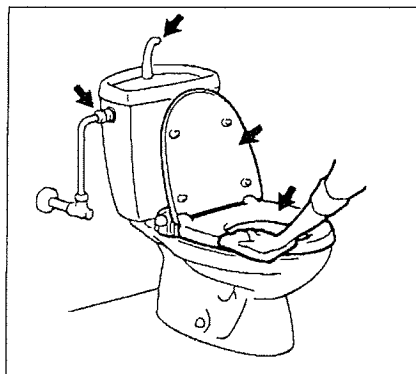
●宅配サービスを利用される場合
お近くの㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　9：00〜17：00（土、日、祝日を除く）

お手入れ方法

便器や付属金具、便座はお手入れせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく、部品によっては、使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

なお、クレンザー、磨き粉は表面を傷つけますのでお使いにならないでください。

■便座・便フタ・手洗吐水口等のお手入れ（樹脂部）

- 便座、便フタ、手洗吐水口等は樹脂製です。柔らかい布でからぶきをしてください。
- 頑固な汚れには、**シャワートイレお掃除クリーナー・おそうじティッシュ**（別売品）をお使いください。もしくは、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後すぐに水拭きをし、乾いた布で拭き取ってください。

注意

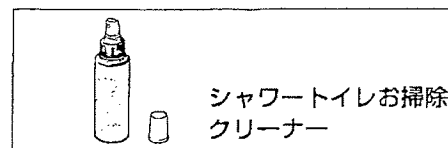
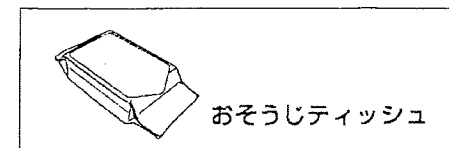
表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉
- 中性洗剤以外の洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸、アルカリ、熱湯
- 金属たわし、ナイロンたわし、ブラシ等

■シャワートイレお掃除クリーナー
（品番：CWA-20）

■おそうじティッシュ
（品番：CWA-36）

トイレ用洗剤や住宅用洗剤などで便座などの樹脂をお手入れすると割れて事故につながることがあります。便座や便フタの樹脂部には、シャワートイレお掃除クリーナーをお使いください。
（購入方法は、10ページをご覧ください。）

シャワートイレお掃除クリーナー

おそうじティッシュ

- ヒーター付便器の場合、特に次のことに注意してください。

注意

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

電源プラグやヒーターコントローラーを水につけたり、水をかけないでください。

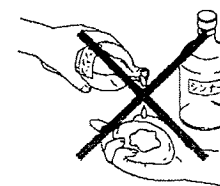
※ショート・感電の恐れがあります。

（ヒーター付便器の場合）

⚠注意

電源プラグやヒーターコントローラーにトイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。

※樹脂が割れて感電・火災の原因となります。

（ヒーター付便器の場合）

■便器のお手入れ（陶器部）

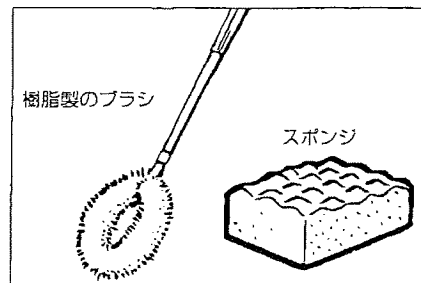
樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

注意

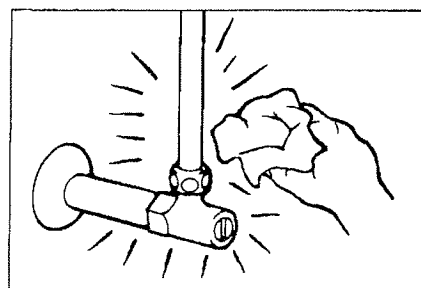
●熱湯はお使いにならないでください。

※便器が破損することがあります。

●ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤はお使いにならないでください。

※表面が侵されます。

■止水栓・サプライ管のお手入れ（メッキ部）

●汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。

●月に一度くらいミシン油やカーワックスを染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。

注意

壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄して、メッキ部に酸等が付着した場合は、十分水洗いしてください。

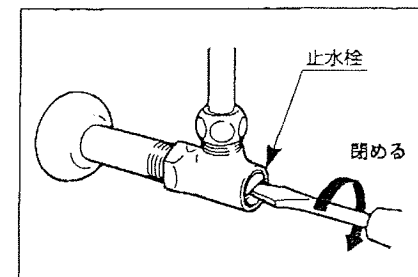
※酸性洗剤はメッキを侵します。

●表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。

●クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわし、ブラシ等
●酸性洗剤、塩素系漂白剤
●シンナー、ベンジン等の溶剤

長期間使用しない場合

旅行などで長い間使用しないときは万一の故障のために以下の操作を行ってください。

1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して、ロータンクへの給水を止めます。
このとき最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので再使用時、最初の位置に戻す必要があります。
水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。

注意

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず最初の位置に戻してください。

※最初の位置に戻さないと、漏水により、家財などを濡らす恐れがあります。

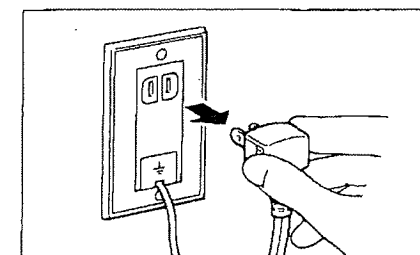
※最初の位置がわからない場合は、施工説明書の「止水位の確認、止水栓の調節」を参考にしてください。

2. 凍結の恐れがある地域では凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を完全に抜きます。ただし便器トラップ内の溜水は排出できませんので、溜水を汲み出すなどの処置が必要です。

※水抜式便器の場合は15ページを参照してください。

※水抜式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてロータンク内の水を完全に抜いてください。

3. コンセントから電源プラグを抜いてください。

※万一の故障にも安心です。

冬期凍結の恐れがある場合

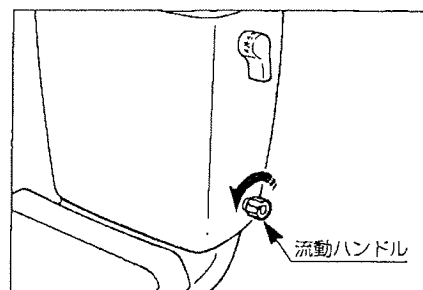
冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処置を行ってください。
※凍結した場合、ロータンクや便器が破損する原因になります。

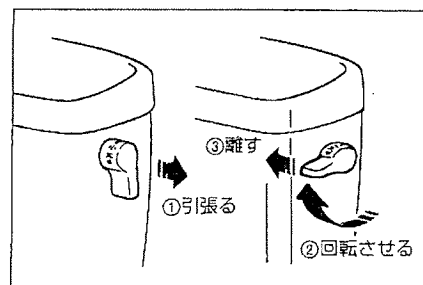
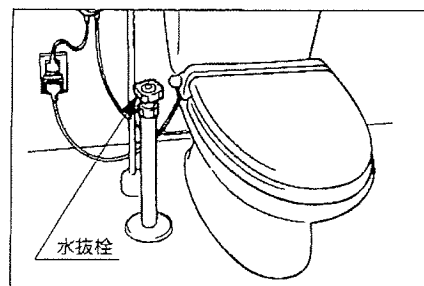
■ 凍結防止方法

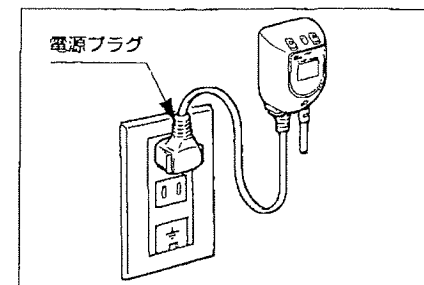
●標準式便器の場合

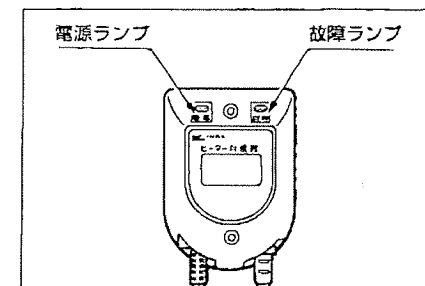
室内を暖房して、ロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

●流動式便器の場合

流動ハンドルを全開にしてください。
ロータンク内の水が絶えず便器鉢内に放流され、凍結を防止します。

●水抜式便器の場合

1. 室内を暖房し、水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。このとき止水栓付便器の場合、止水栓は全開のままにしておきます。
（ヒーター水抜き併用方式便器の場合は室内暖房の必要はありません。）
2. 洗浄ハンドルを操作してロータンク内、配管内の水を抜いてください。
①洗浄ハンドルを横に引張ります。
②手前に回します。
③洗浄ハンドルが水平になったら手を離します。
④洗浄ハンドルが水平にロックされていることを確認します。

●ヒーター付便器の場合

ヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談室へ連絡してください。

■トイレ内の使用限界温度について

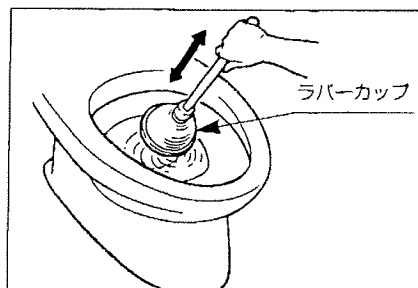
凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

●流動式便器の場合――－10℃以上
●ヒーター水抜併用式便器の場合――－15℃以上
●上記以外の便器―― 0℃以上
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

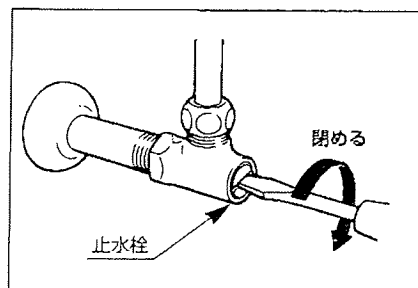
修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

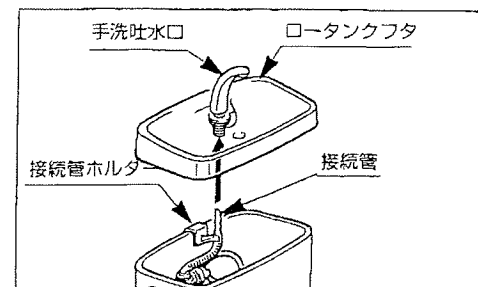
■便器が詰まった場合

市販のラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。
便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引いたり押したりを数度繰り返してください。
このとき、透明なビニールでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。

■ロータンクへの給水時間が長くなった場合

ストレーナーのゴミ詰まりが原因と思われますので、以下の手順でストレーナーのゴミを取り除いてください。

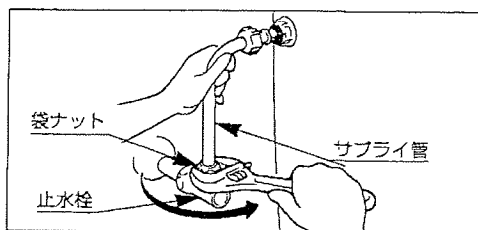
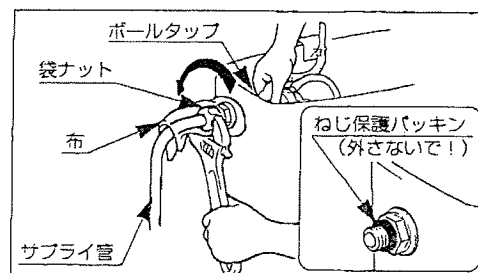
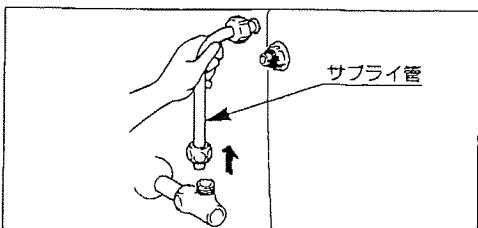
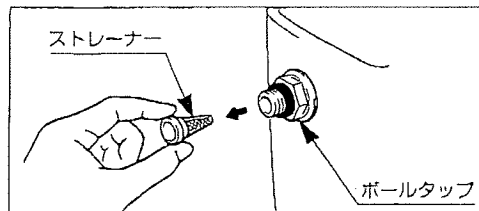
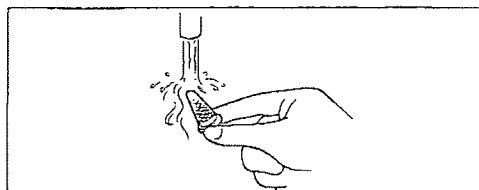
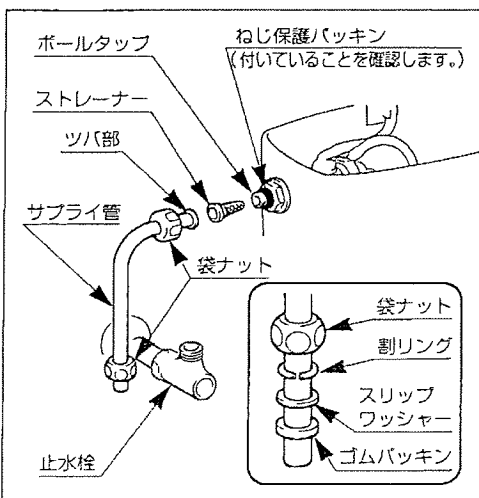
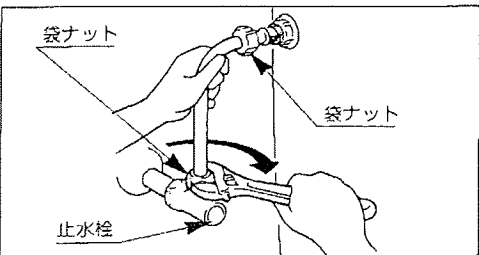
1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して閉めます。
   このとき、最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので作業終了後、最初の位置に戻す必要があります。

注意

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、傷を付ける恐れがあります。
以下の点に注意してください。
※マイナス溝にあうマイナスドライバーを使用してください。
※必要以上に閉めすぎないでください。

2. ロータンクフタを持ち上げて外します。
   手洗付の場合、接続管ホルダーがロータンクから外れることがありますので、接続管を手洗吐水口から抜き、接続管ホルダーをロータンク後側のヘリに差し込み、固定します。

3. ボールタップ側の袋ナットを外します。このとき、ボールタップもいっしょに回らないように手で固定します。

注意

ボールタップの袋ナットを外すときは、必ず布でくるんで、その上から工具で外してください。
※ボールタップの袋ナットは樹脂製ですので、そのまま外すと傷が付く恐れがあります。

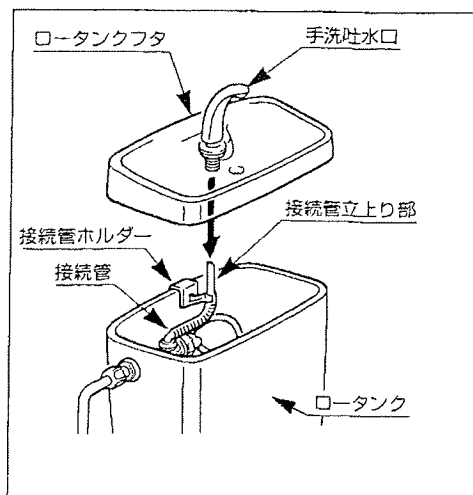
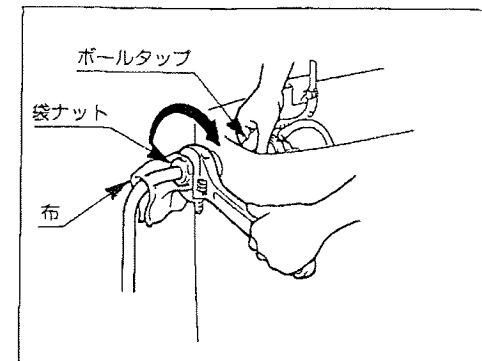
4. 止水栓の袋ナットを外します。

5. サプライ管をロータンクから外します。
   このときサプライ管内の水が出てきますので、雑巾などを用意しておいてください。

6. ボールタップからストレーナーを取り出します。

7. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。

8. ストレーナーをボールタップに差し込みます。
9. 右図のようにサプライ管に袋ナット（2個）と割リング、スリップワッシャー、ゴムパッキンが付いていることを確認してから、サプライ管を止水栓に差し込みます。
10. ボールタップのねじ部にねじ保護パッキンが付いていることを確認してから、サプライ管のツバ部をボールタップに合わせます。

11. 止水栓の袋ナットとボールタップ側の袋ナットを締め付けます。
止水栓側の袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから、工具で3/4～1回転増締めしてください。
(締付トルク10～15N･m〔100～150kgf･cm〕)

⚠ 注意

サプライ管の接続は確実に行ってください。
※袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。

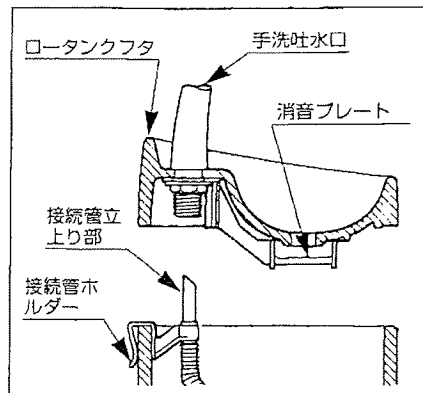
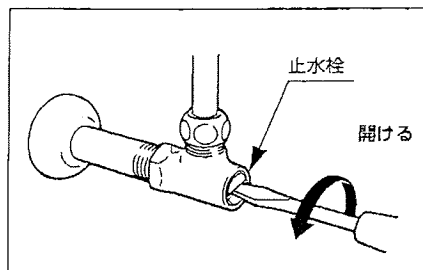
ボールタップ側の袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから、工具で約1/4回転（目安）ほど増締めします。
このとき、ボールタップが回転しないように手で固定します。

注意

- ボールタップの袋ナットを工具で締め付けるときは、必ず布でくるんで、その上から工具で締め付けてください。
  ※ボールタップの袋ナットは樹脂製ですので、そのまま締め付けると破損する恐れがあります。
- シートタイプのシャワートイレを併設する場合等でフレキホースを接続する際には、フレキホースの袋ナットを強く締めすぎないでください。
  ※フレキホースの袋ナットは金属製ですので、強く締めすぎるとボールタップの樹脂ネジが破壊し漏水する恐れがあります。

12. ロータンクフタをロータンクに取り付けます。
(1) ロータンクフタを載せる前に次のことを確認します。
- 接続管ホルダーがロータンクに固定されている。

(2) 接続管立上り部を手洗吐水口の下端部に差し込むようにしてロータンクフタを載せます。

注意

ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。
※漏水の原因になります。

13. 止水栓をマイナスドライバー等で左に回して開けます。このとき最初の位置に戻してください。

注意

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず最初の位置に戻してください。
※最初の位置に戻さないと、漏水により、家財などを濡らす恐れがあります。
※最初の位置がわからない場合は、施工説明書の「止水位の確認、止水栓の調節」を参考にしてください。

14. 給水時間が短くなったことを確認します。
※手洗吐水口から水が出ていることを確認してください。水が出ていないときは再度ロータンクフタを確実に取り付けてください。
※接続部が漏水していないことを確認してください。

■ロータンクまたは便器下部に水滴がついた場合

結露により水滴が付く場合があります。
乾いた布でこまめにふきとってください。(☞10ページ)

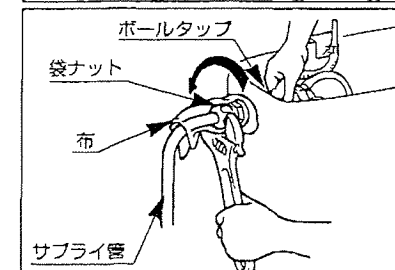
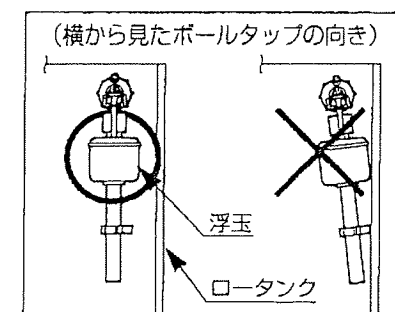
■便器洗浄水がなかなか止まらない場合

便器洗浄後5分以上たっても、洗浄水が止まらない場合は、ロータンクフタを外して以下の確認を行ってください。

●浮玉の可動部やフロート弁などにゴミなどの異物が挟まっていないことを確認してください。

異物が挟まっている場合は、以下の要領で直してください。
(1) 止水栓を閉めます。
(2) 異物を取り除き、浮玉またはフロート弁が正常に働くことを確認します。
(3) ロータンクフタを取り付け、止水栓を開けます。

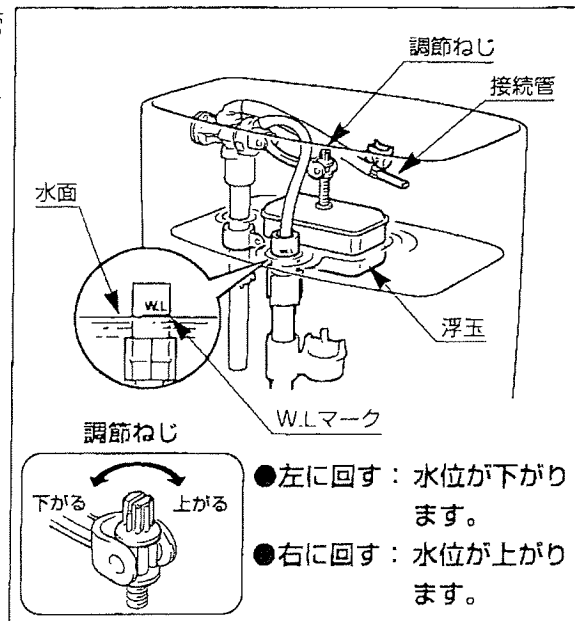
●浮玉がロータンク内側の壁に当たっていないことを確認してください。

浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直してください。
(1) 止水栓を閉めます。
(2) ロータンクの袋ナットをゆるめて、ボールタップを垂直に立てます。
(3) ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。
袋ナットの締め付けは、19・20ページをご覧ください。
(4) ロータンクフタを取り付け、止水栓を開けます。

●**ロータンク内の水位（水面）がオーバーフロー管の「W.L」マークに合っていることを確認してください。**
水位が「W.L」マークに合っていない場合は、以下の要領で直してください。

(1) 手洗付の場合は、接続管を下に向けます。
(2) 調節ねじを下表の目安にしたがって左に回します。

回転の目安

「W.L」マーク～水面	調節ねじ
30mm	約10回転
25mm	約8回転

(3) 調節後、便器洗浄を行い、水位を確認してください。
(4) 接続管(手洗付)を元に戻し、ロータンクフタを取り付けます。

※上記処置で故障が直らない場合は、お求めの取扱店または（株）INAXメンテナンスへご相談ください。(連絡先は裏表紙に記載)

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に
「修理を依頼される前に」の項（☞17ページ）を参照して確認してください。

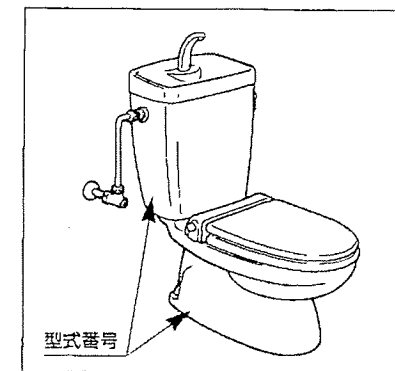
⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 発火したり、異常作動してケガをすることがあります。
（ヒーター付便器の場合）

2.修理を依頼されるとき
お求めの取扱店または（株）INAXメンテナンスに修理を依頼してください。(連絡先は裏表紙に記載)
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》
"技術料" ＋ "出張料" ＋ "部品代" で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1.ご住所、ご氏名、電話番号
2.商品名
3.型式番号［商品に表示（右図参照)］
4.ご購入日
5.故障内容・異常の状況
6.訪問ご希望日

●ヒーター付便器には、保証書が付いています。

1.保証書と保証期間

保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から1年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

2.修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または（株）INAXメンテナンスに修理を依頼してください。（連絡先は裏表紙に記載）

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- "技術料" ＋ "出張料" ＋ "部品代" で構成されています。

3.部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。なお補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

3.アフターサービス等についておわかりにならないとき

『お客さま相談室』または(株)INAXメンテナンスへお問い合わせください。

（連絡先は裏表紙に記載）